

二中の木

学校報
第10号
H27/09/15



能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

爽秋の能代に『二中若』躍る！ 〜二九六名の志をひとつに〜

12日の本番に向けて

二中若運行の前々日、九月十日(木)にはシャチに黒々とした墨で目玉を入れる「入魂式」が行われました。

先導10名、田楽80名、踊り42名、太鼓48名、笛70名、曳き手46名の各代表者が代わるがわるに筆を持ちました。また、代表者による運行に向けての決意表明もありました。

それぞれに、二中若を支えようとす強い意気込みが感じられました。特に三年生からは最後の行事にかける思いが痛いほど伝わってきま

した。また、運行前日には屋外で本番さながらの練習が行われました。残念な



ら、小雨交じりの生憎の天気でしたが、生徒の練習の様子は、天気の善し悪しなど考える暇を与えない、熱のこもったものでした。



開することを目指しています。

皆さんは、この二中若で何を表現しようと考えていますか。是非とも自分達を、二中を応援してくれている保護者や地域の方々に対する感謝の気持ちを表現してもらいたい。」と入魂式で話しました。

生徒、教職員、保護者、地域の方々の様々な思いを映して12日(土)に二

熱くかつ整然と

中若が運行されました。

当日、生徒は午後四時前に学校に集合し、部門ごとの打合せをした後に能代駅前へ移動し、はやる心を抑えながら出番を待ちました。午後六時、音頭上げの合図とともに運行が開始されました。



先導役の生徒が持つ横断幕には、誇らしく「不撓不屈」の文字。自作の田楽で元気な表情を見せながら、一年生がその後に来ます。

を切らせながら頑張る42名、なかなか「ハード。サラシ姿もかっこよく、運行の勢いを力強く後押しする太鼓のリズム。



運行の鮮やかな彩りとなった笛の音。時に軽快に、時にしつとりと。運行のメインシンボル、灯籠を遣り回す曳き手の威勢の良い掛け声。

運行が終わった直後から、おなごり実行委員会、沿道の観客、二中OB、保護者等々の方々からは、例年以上に七夕としての完成度が高い。」とのお褒めの言葉を数多くいただきました。



に二系乱れずの気持ちと同様に整然としたものでした。

さて、二中の歴史と伝統を引き継ぐ一、二年生の新人戦がこの19日(土)〜20日(日)に開催されます。応援をお願いします。別途ご案内を確認ください。
【終】



